

キャリア(職業上の経歴や経験などの継続的な過程)  
形成に関する意向調査  
報告書

平成 30 年(2018 年)12 月  
公立大学法人 奈良県立医科大学  
女性研究者支援センター「まほろば」

## はじめに

我が国では、男女共同参画・女性活躍推進を重要政策として進めているが、医学界では未だ男女医師間のキャリア格差が顕著である。医師数においても、本邦の女性医師は近年増加傾向にあるが、平成 26 年時点で届出医師の 20.4%（厚生労働省資料）と、30%以上が女性である欧米諸国と比較して少ない。特に、次世代の教育や臨床研究を担う医学部教員の女性医師の割合は 10%台と低く、助教から講師、准教授、教授とアカデミックキャリアパス形成のステップを追うに従い女性比率が著しく減少する。アカデミックキャリアの格差が、医学部大学役員や学会役員等、医学界の意思決定に関わる女性医師が極端に少ない一因と考えられる（日本医師会 雑誌 第 143 巻・第 6 号）。医師国家試験合格者に占める女性の割合は、近年 30%台前半で推移している（厚生労働省資料）ことから、現在のアカデミックキャリアにおける男女医師間格差が、数の不均衡のみでないことは明らかであり、男女両性の健康増進の観点からも是正されるべき課題である。医学部卒業後、医療技術習得に長期間を要する医師は、他の分野の研究者と比べ研究開始時期が遅くなり、臨床業務に育児や出産等のライフイベントが加わると研究継続が困難となる。キャリア格差解消には、長時間労働の是正、研究とライフイベントの両立支援が引き続き必要であるが、これまでの各医育機関の取組報告からも環境整備のみでは不十分である。両立支援と同時に、男性の男女共同参画の意識や女性のモチベーションを高める医学教育の確立が必要と考える。本研究では、医学生および初期臨床研修医を対象に意向調査を行い、在学中の学業達成度に性差がないにも関わらず、卒後のアカデミックキャリアに性差が生じる当事者側の内的要因と職場環境やハラスメント等外的要因の分析を行った。また、キャリア向上のために必要とする情報や機会の要望を男女、学年別に明らかとし、アカデミックキャリア向上や格差解消の動機づけと情報提供が可能な 6 年一貫継続型ジェンダー教育プログラムの作成を目指した。

## 意向調査

奈良県立医科大学に在籍する医学科学生 691 名と臨床研修医 83 名を対象に、男女共同参画とアカデミックキャリア男女間格差に関する認知度や意識、アカデミックキャリア形成意欲、自身のキャリアプラン、アカデミックキャリア向上に必要な情報や機会等について、リッカート 5 段階尺度による評定質問を中心に、設問によっては自由記載形式を採用し、無記名質問票（学生用：別紙 1、臨床研修医用：別紙 2）直接配布回答方式で意向調査を行った。調査実施期間は、平成 28 年 11 月 1 日から 12 月 27 日とした。配布数と有効回答率は図 1 に

示すとおりで、90%以上の学生、45%以上の臨床研修医から有効回答を得た。

図1 配布数と有効回答率

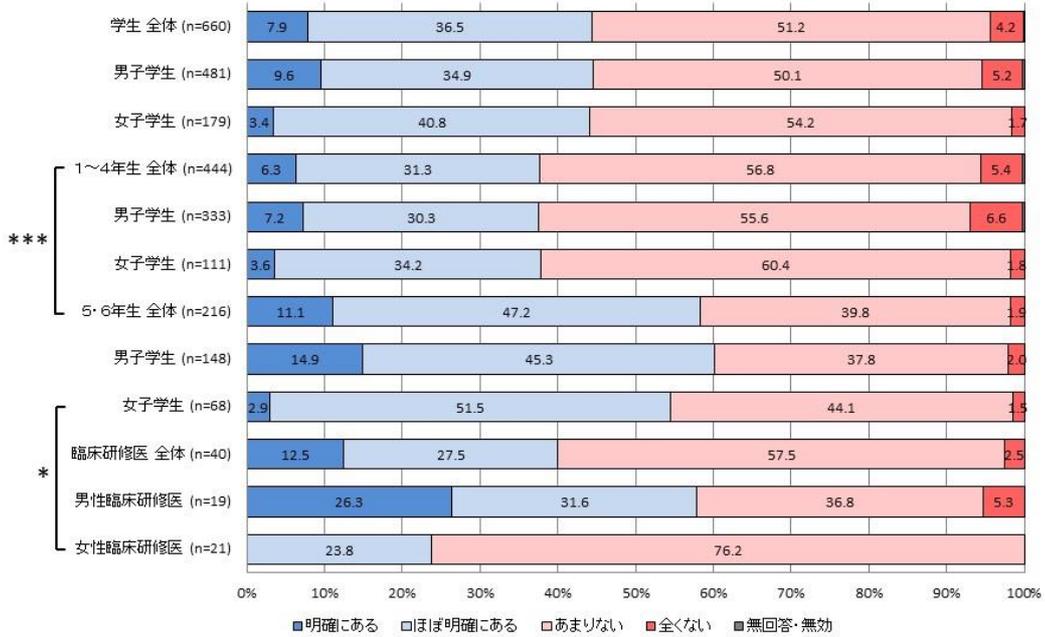
	学 生						臨床研修医	
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年目	2年目
配布数	116	113	124	119	110	109	39	44
	男	78	88	94	94	74	75	23
女	38	25	30	25	36	34	16	14
有効回答数(人)	111	104	116	113	109	107	20	20
	男	75	81	87	90	74	74	9
女	36	23	29	23	35	33	11	10
有効回答率(%)	95.7	92.0	93.5	95.0	99.1	98.2	51.3	45.5

#### 自身のキャリア計画

臨床実習後の学生（5,6年生）は、臨床実習前の学生（1～4年生）と比べ、卒後の具体的なキャリアイメージが明確にあると回答した割合が男女共に高かった（図2）。臨床実習が、男女を問わず、自身のキャリアを考える機会になっていると考えられる。一方、女性研修医は、臨床実習後の女子学生と比べて、具体的なキャリアイメージが明確にあると回答した割合が低く、キャリアに関する迷いや悩みを抱えていることが推察される。男女共に将来は病院（大学を除く）で従事したいと回答した割合が最も高く、大学教員を希望する割合は低かった。しかし、臨床実習後の学生と研修医では、男性を中心に、臨床系教員を希望する割合が高くなっていた（図3）。昇進意欲に関しては、男女間に有意な差を認めた。男子学生では、臨床実習後、将来管理職に就きたいと考える割合が有意に高くなり、男性研修医においてもその割合は過半数を超えていた。一方、女性は、低学年から研修医まで一貫して、昇進意欲は低いままであった（図4）。今後、医師にとっての昇進の意義を考え、男女間に存在する昇進意欲の差について考える機会が、医学部のキャリア教育の中で必要である。

図2 キャリアイメージ

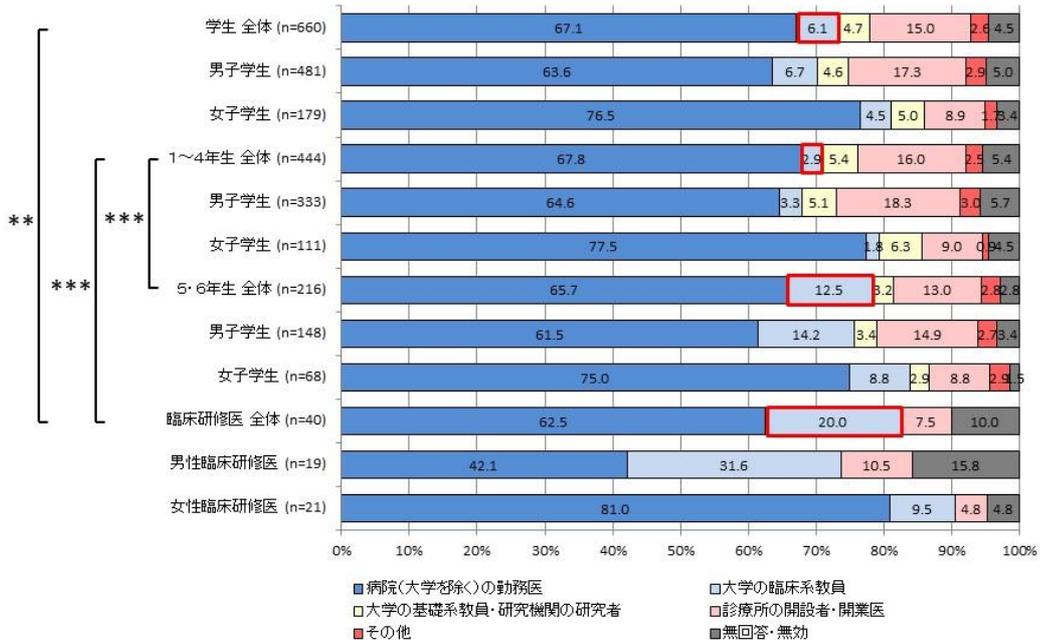
卒後/臨床研修終了後の具体的なキャリアイメージはありますか



\* p< 0.05, \*\*\* p< 0.001

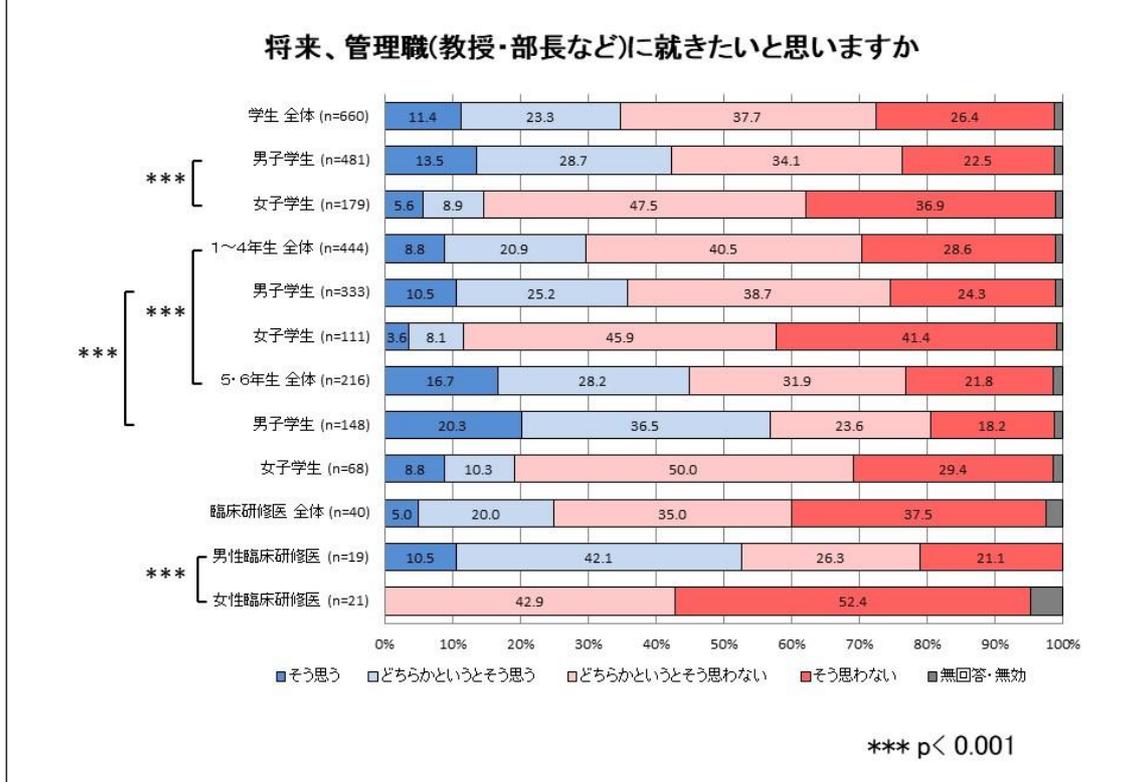
図3 将来の勤務施設や業務

将来、主に従事したいと考えている施設・業務は以下のどれですか



\*\* p< 0.01, \*\*\* p< 0.001

図4 昇進意欲



### キャリア形成に必要な事から

臨床実習後の学生は、実習前の学生と比べると、自身のキャリア形成のために重要視する項目が多くなるが、ボランティア精神の重要度は低くなっていた(図5)。男女学生間では、女子は知識、体力、語学力、ボランティア精神を男子と比べて重要視しており、男子は組織のマネジメント能力を女子と比べて重要視していた(図6)。専門医認定を得ることに関しては、臨床実習後の学生と研修医は、実習前の学生と比べ、男女共に重要視していた(図5, 図7)。一方、博士(医学)の学位取得に関しては、臨床実習後の学生は、実習前の学生と比べて、男女共に重要視はしているが、5段階尺度の平均値は4未満と他の項目と比べると低かった(図5)。研修医では、博士(医学)の学位取得の重要度は、男性研修医の mean±SE (4.05±0.97) が女性研修医 (3.33±0.86) と比べて有意に高く(図8)、男性研修医に臨床系教員の希望割合が高いことや将来管理職に就きたいと考える割合が高いことと整合性が見られた。

図5 キャリア形成における重要度の学年変化



図6 男女学生間のキャリア形成における重要度の違い

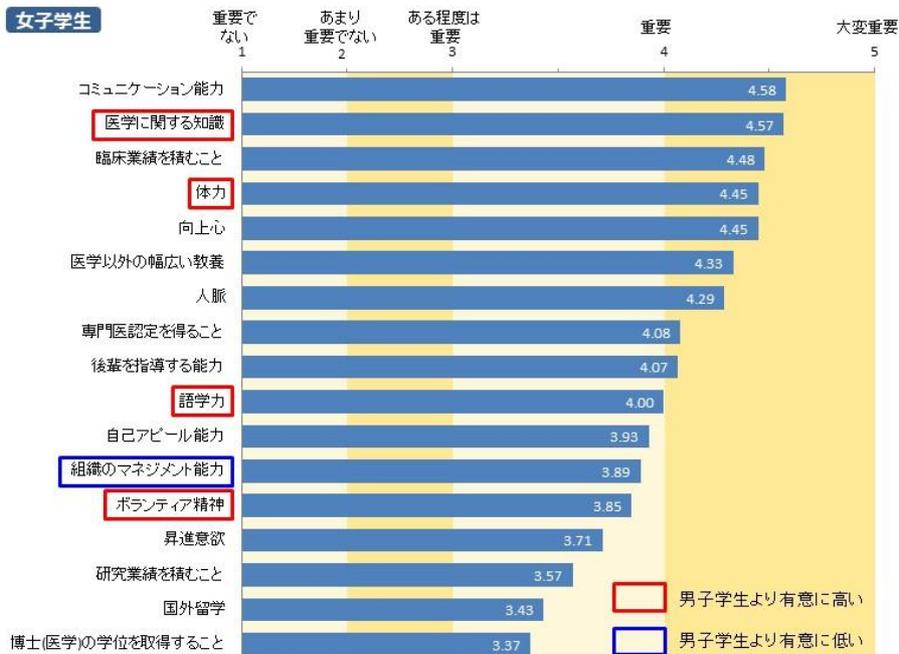


図7 臨床研修医のキャリア形成における重要度

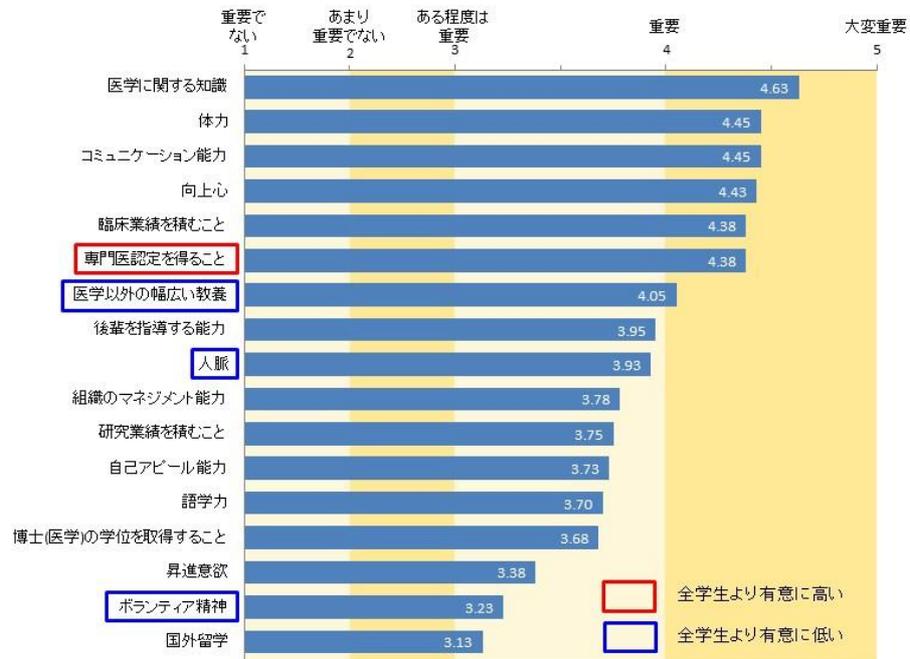
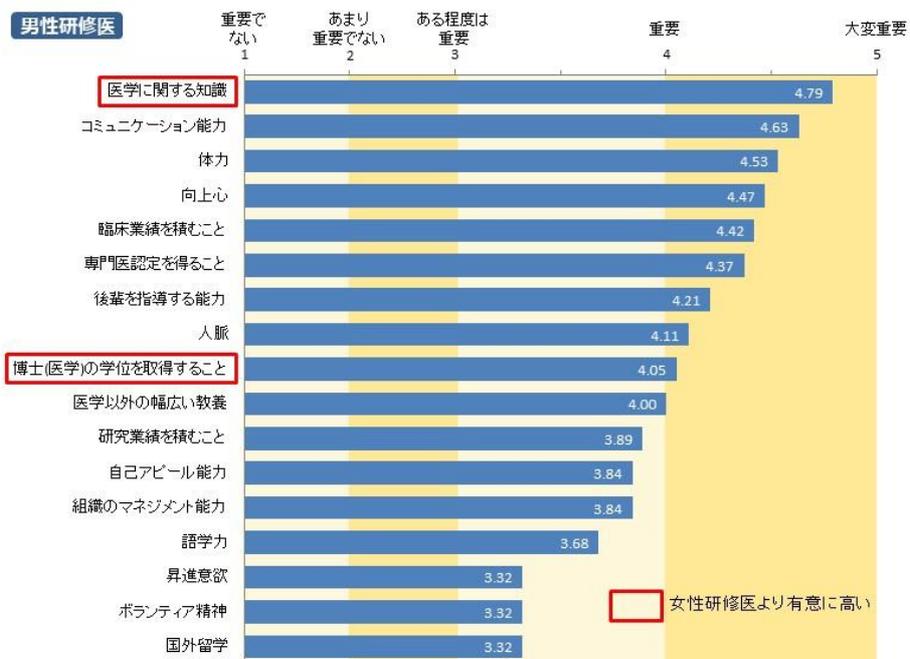


図8 研修医男女間のキャリア形成における重要度の違い



## キャリア形成に不安を感じる事から

臨床研修医は、男女共に、就労環境（休日・休暇の取得、長時間労働、給料・収入）や家族の支援・理解、結婚・出産・育児、ワーク・ライフ・バランス、自分の内的要因（自分の知識・能力、意欲・向上心の持続、自分の健康状態）について、学生よりも強い不安を感じていた（図9, 図10）。研修医が抱える様々な不安に対する解決策を見出すためには、年齢やキャリアの異なる多様な医師と対話する機会を臨床研修期間中に提供することが重要と考える。一方、学生は研修医と比べると不安を感じる項目は少ないが、項目によっては性差を認めており、ワーク・ライフ・バランスや結婚・出産・育児については、女子学生が男子学生よりも強い不安を感じていた（図11）。在学中の学業成績からではなく、ワーク・ライフ・バランスや結婚・出産・育児に対する予期不安から、女子学生が将来のキャリアの選択肢を狭めている可能性も考えられる。医学部学生の頃から、男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについて学ぶ機会が必要である。また、男女に関わらず学生と研修医の約70%が、人間関係・ハラスメントに対して不安を感じていた（図12）。彼らが今後、ハラスメントの被害者にも加害者にもならないためには、大学や職場で生じるハラスメントについて学び、防止策を考える機会を医学教育の中で提供することが望ましい。

図9 学生のキャリア形成に対する不安

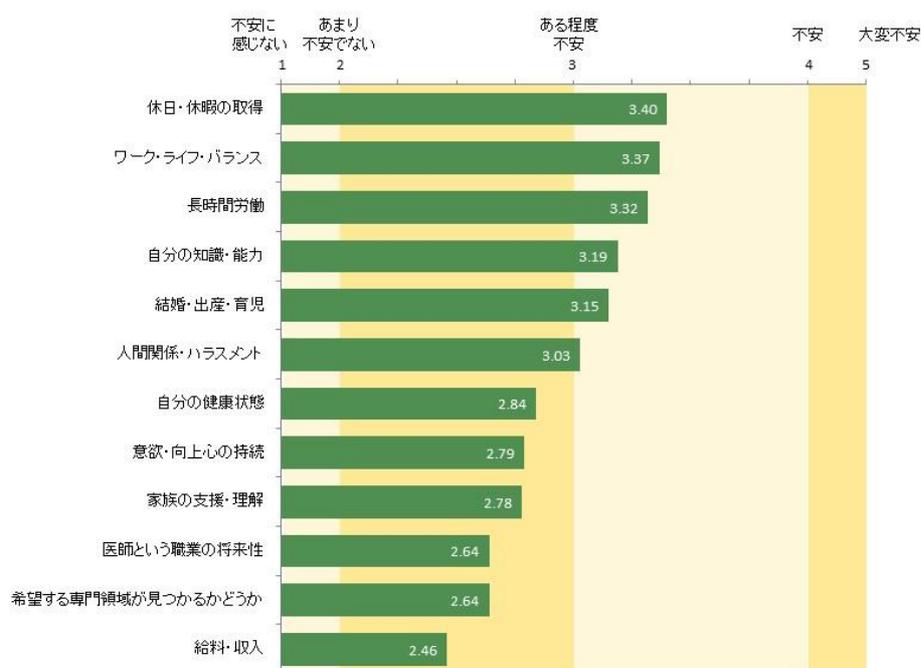


図10 臨床研修医のキャリア形成に対する不安

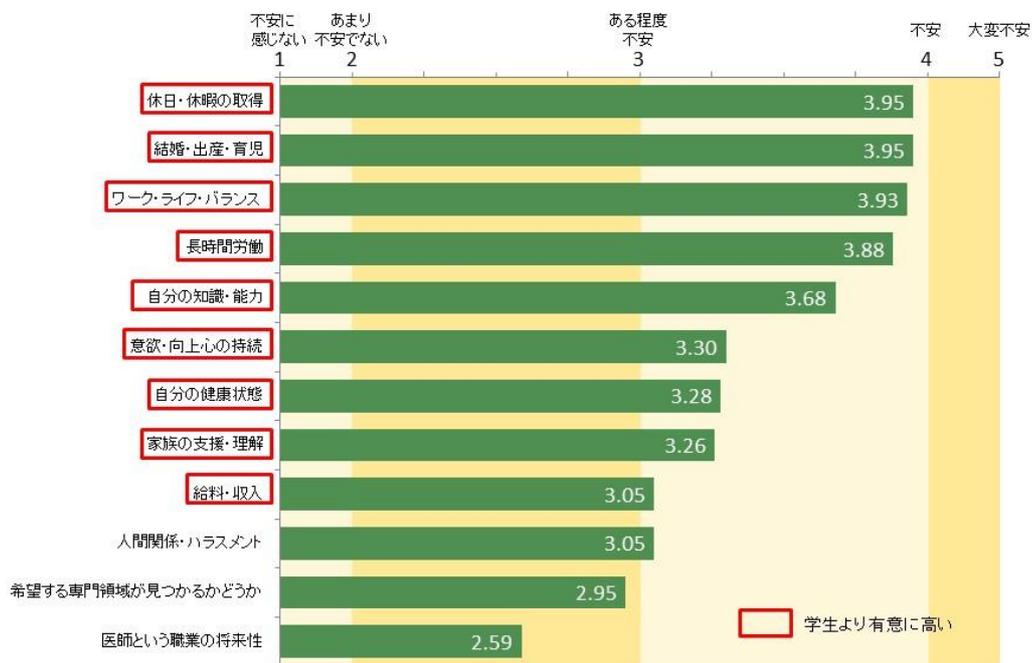
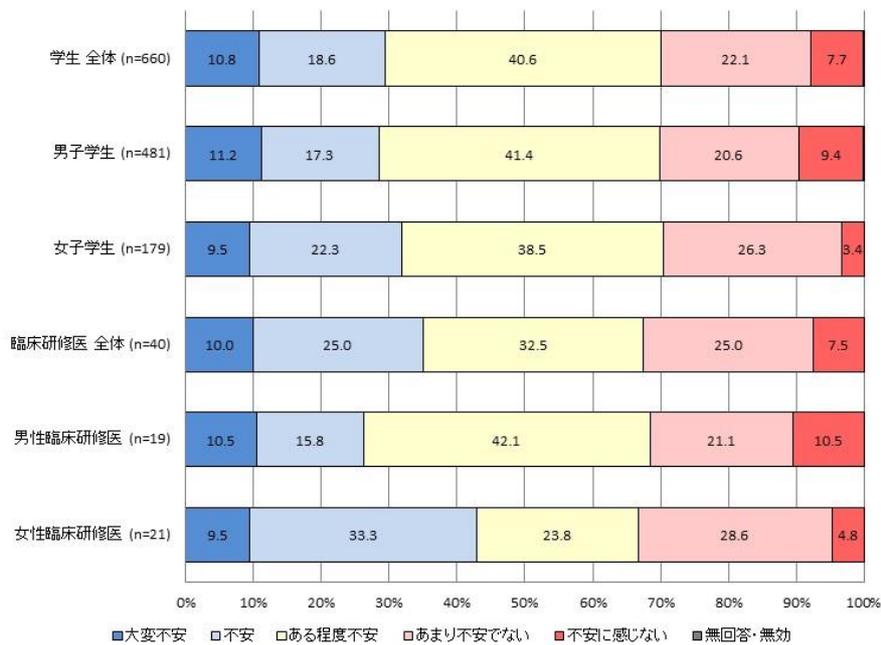


図11 女子学生のキャリア形成に対する不安



図12 人間関係・ハラスメントに対する不安



### キャリア形成のために改善が必要な事から

学生は、自身のキャリア形成のために、大学のカリキュラム、勉強時間の確保、勉学意欲、授業以外の学習機会、キャリア構築に関する情報を得る機会、学業以外の活動時間の確保の項目に対して、改善が必要と回答した（図 13）。改善の必要性に性差を認めたのは、大学のカリキュラムと学業以外の勉強時間の確保の 2 項目であった。大学のカリキュラムについては、5 段階尺度の男子学生の mean±SE (3.71±1.03) は女子学生 (3.53±0.90) よりも高く、男子が改善の必要性をより強く感じていた。一方、学業以外の活動時間確保については、女子学生の mean±SE (3.44±0.92) は男子学生 (3.22±1.01) よりも高く、女子の方が改善の必要性を強く感じていた。一方、臨床研修医の臨床研修プログラム改善の必要性 (2.90±0.98) は、学生の大学カリキュラム改善の必要性 (3.66±1.00) と比べて有意に低い結果であった。臨床研修医は、医療技術を習得する機会の確保、医学知識や医療技術を吸収する意欲、医学知識を学ぶ機会の確保、仕事以外の活動時間の確保、キャリア構築に関する情報を得る機会、医師以外の職員との関係に対して改善が必要と回答した（図 14）。本学医学科では、新カリキュラムを平成 27 年から先行導入し、平成 28 年から完全実施している。学生が、大学のカリキュラム改善の必要性を強く感じた背景には、新カリキュラム導入の経緯や新カリキュラムの意義について十分に理解できていない可能性も考えられる。今後も、学生と教員が対話を重ね、学生の意見をカリキュラム評価に反映するシステムを構築することが望まれる。また、キャリア構築に関する情報を得る機会に関しては、学生、研修医共に改善の必要性を感じており、医学教育の中で、各年代に応じたキャリア情報を提供

することが重要である。

図13 キャリア形成のため改善が必要な項目(学生)

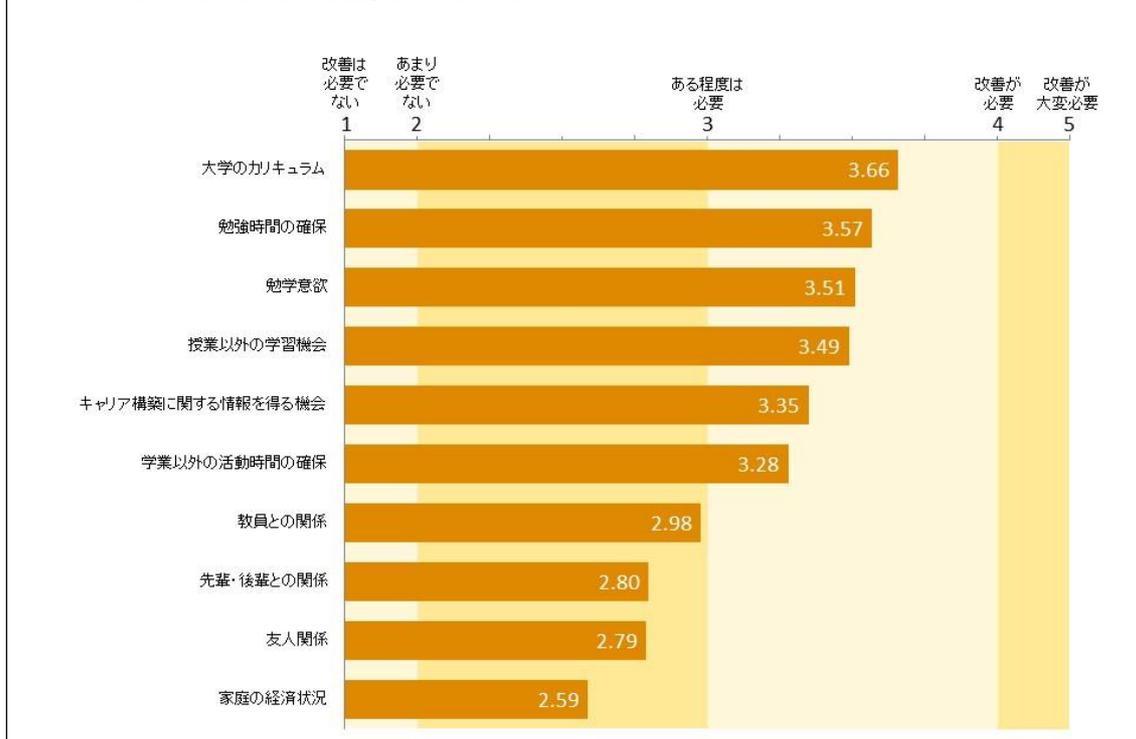
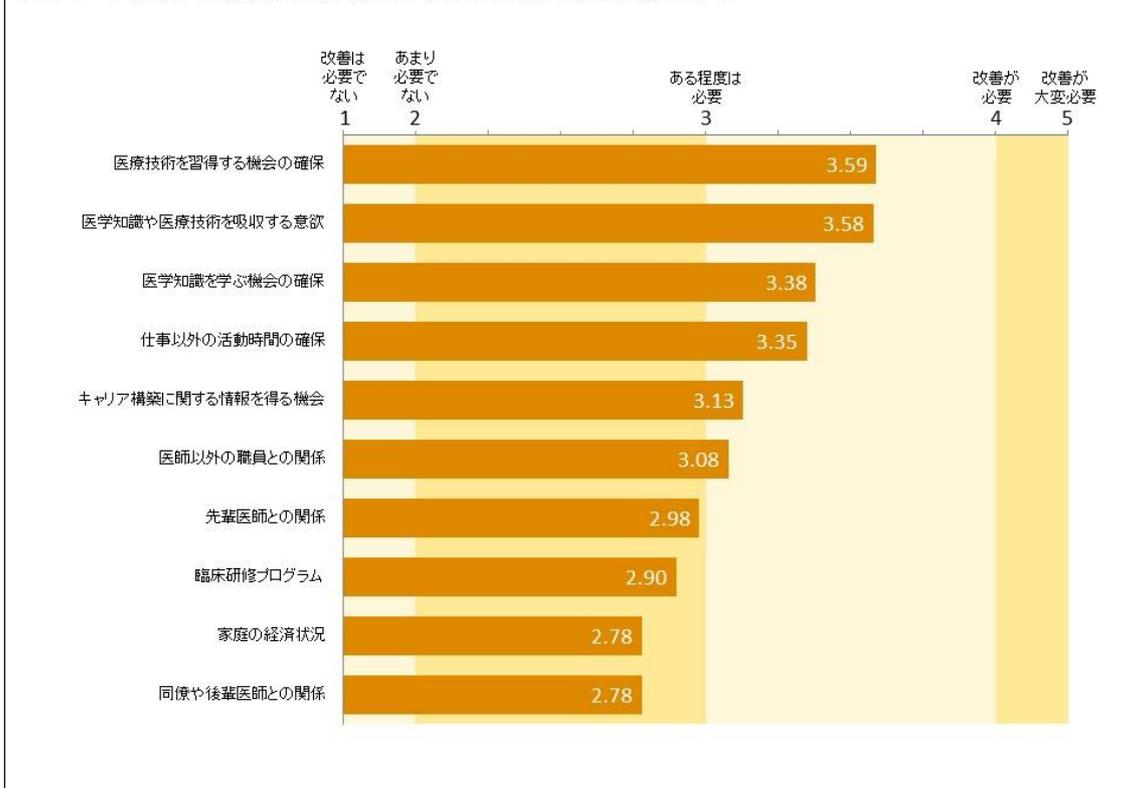


図14 キャリア形成のため改善が必要な項目(臨床研修医)



## 男女共同参画の認知度

男子学生と男性研修医の過半数が、男性医師と女性医師の間に専門医認定割合や給与、職位、アカデミックキャリアの形成に格差はないと回答したが、女子学生と女性研修医では過半数が男性優位と回答した（図 15, 図 16）。専門医認定割合や給与、職位、アカデミックキャリア形成において、男性優位と考える割合は、女子学生の方が男子学生と比べて有意に高かった（図 15, 図 16）。日本の医学界では未だ男女医師間のキャリア格差が顕著であるが、男子学生や男性研修医にはそれら格差についての現状認識が乏しい。また、学生と研修医の過半数は、男女共に、医師の職場において男女共同参画が実現していると回答したが、実現していると回答した割合は、男子学生の方が女子学生と比べて有意に高かった（図 17）。

## 学生・臨床研修医の自由記載

卒後のキャリア構築のために知りたい情報としては、国内外への留学、大学院進学、専門医制度、県内外の研修施設、労働時間や収入、出産や育児と仕事との両立方法等の意見が寄せられた（別紙 3）。キャリア構築のために希望する機会としては、様々な世代や経歴を持つ医師との交流会、女性医師の話を聞く機会、病院見学、参加型の病院実習、海外留学、キャリア説明会等の意見が寄せられた（別紙 4）。

図 15 男女医師間格差に関する理解

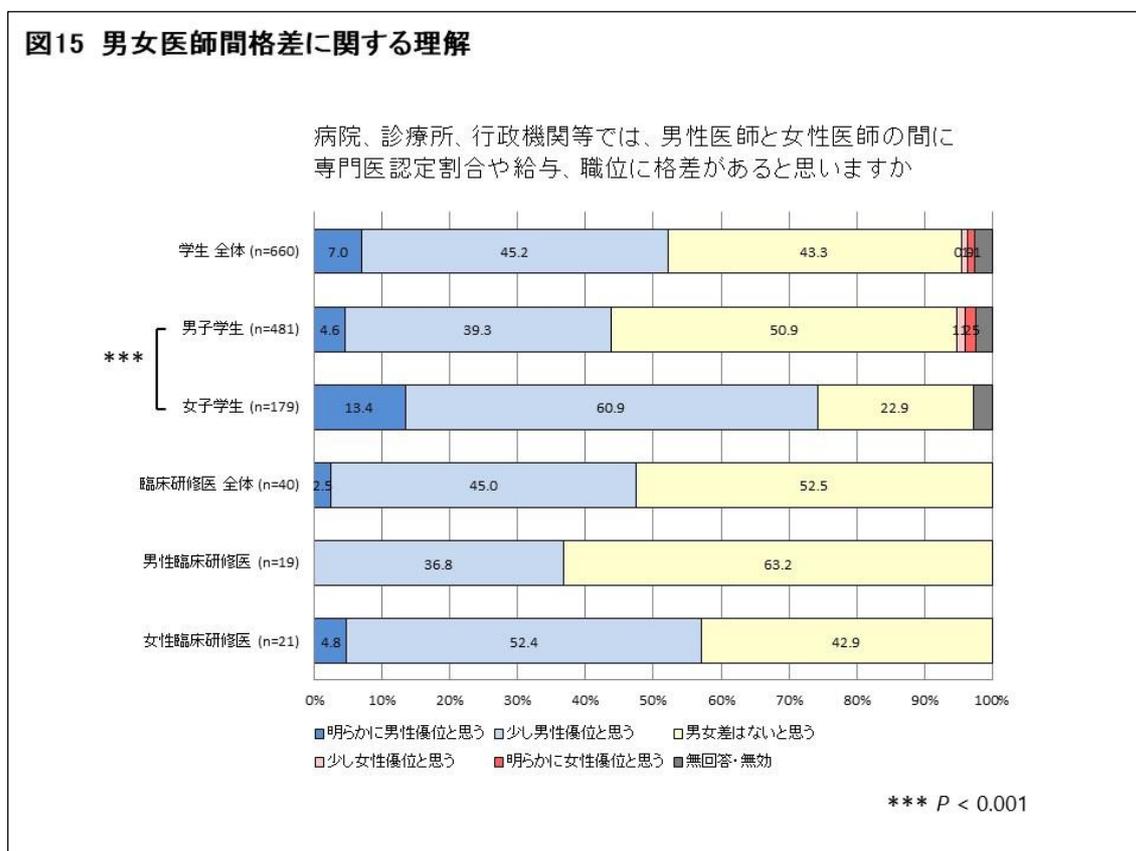
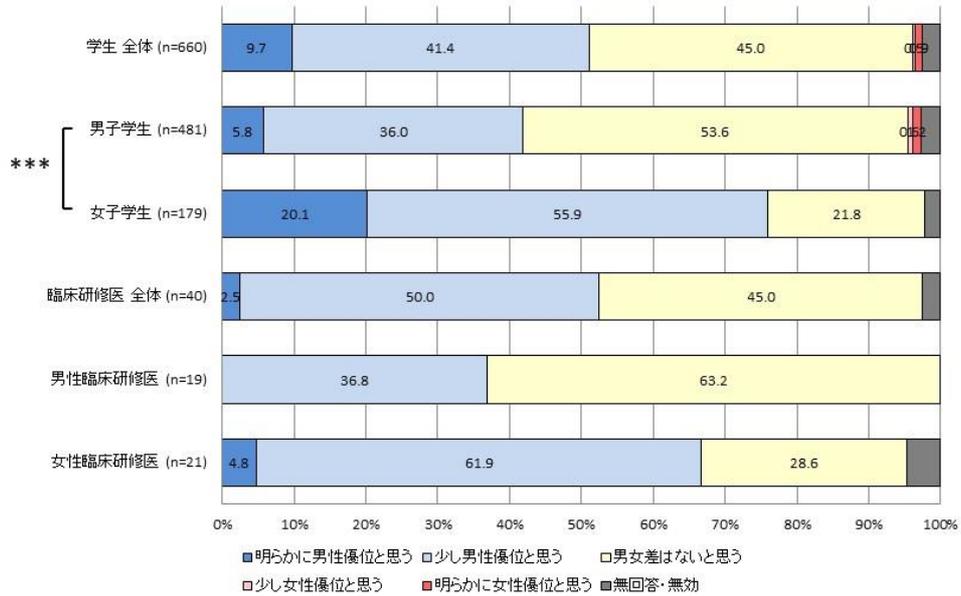


図16 アカデミックキャリア男女医師間格差に関する理解

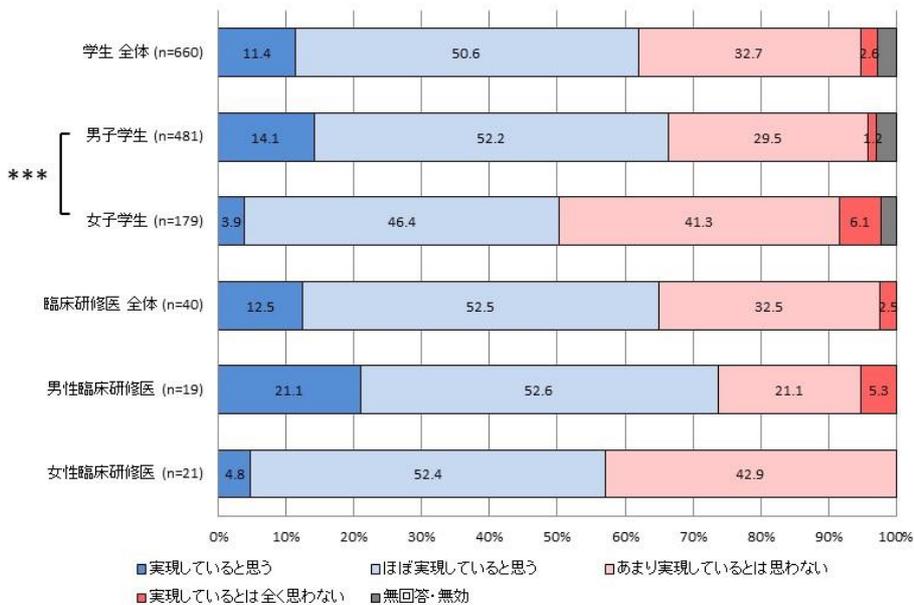
アカデミックキャリア(学位取得割合、研究業績、大学での職位等)の形成に、男性医師と女性医師の間で格差はあると思いますか



\*\*\*  $P < 0.001$

図17 医師の男女共同参画

医師の職場では、男女共同参画が実現していると思いますか



\*\*\*  $P < 0.001$

## おわりに

意向調査の結果から、学業達成度に性差がないにも関わらず、本学に在籍する女子学生と女性研修医は男性と比べて昇進意欲が低く、アカデミックキャリアの一つである博士（医学）の学位取得に対する意欲も女性研修医は男性研修医より低いことが明らかとなった。男女共に、組織の一員である勤務医として働くことを希望しながら、女子学生はワーク・ライフ・バランスや結婚・出産・育児に対する不安を抱えており、女性臨床研修医が明確なキャリアプランを描きにくい状況が浮き彫りとなった。また、男子学生や男性研修医は、男女医師間のキャリア格差に関する認識や理解が乏しいといった課題も見えてきた。本学女性研究者支援センターでは、意向調査の結果を踏まえ、平成 29 年度以降新たな内容で、ジェンダー教育やキャリア教育を実施している。医学科第 1 学年には、教養教育科目の医学研究入門で、国内外の医学界の男女共同参画の現状、研究の魅力、女性医師が研究に携わり研究業績を積むことの意義を伝える授業（2 時間）を行っている。第 2 学年には、6 年一貫教育授業科目・良き医療人育成プログラムの「ロールモデルを探す」という科目（9 時間）で、医学部長が大学の最新カリキュラムについて学生に説明し、先輩男女医師から多様なキャリア構築やワーク・ライフ・バランスに対する考え方を伝える授業を行っている。授業の後半は、グループワークを中心に、自身のキャリア形成のため学生時代に経験したいこと、現在の生活で改善すべきこと等を学生が考える機会を設けている。第 5 学年には、臨床実習の中で、本意向調査の結果と本学医師の男女共同参画の現状や就労環境を示し、男女混合の小人数グループで対処法や解決策を考える授業（各グループ 3 時間）を行っている。医師が組織で昇進する意義、臨床医が研究や教育を行う意義についても議論を重ねている。その過程で、男子学生には、学業面に差がない女子学生が、性別役割分担感等社会通念から将来のキャリア形成に不安を抱いていることの理解を促し、男女共同参画の意識を高める工夫をしている。また女子学生には、指導的立場に立つ女性医師の増加は医学界に多様性を生み、医療を更に発展させる可能性があることを伝え、自身がその当事者であるという自覚を促すよう努めている。臨床研修医には、参加必須のセミナーの中で、本学医師のワーク・ライフ・バランスの満足度や仕事のやりがい等に関して調査を行ったワーク・ライフ・バランス推進のための教職員アンケート調査の結果を紹介している。また、平成 30 年度は、臨床研修医を対象としたハラスメント防止講習会をグループワーク形式で実施する。今後は、教育開発センターや臨床研修センターと協働の上、当センターで行っている現行のジェンダー教育やキャリア教育を発展させ、アカデミックキャリア向上や格差解消の動機づけと情報提供が可能な 6 年一貫継続型ジェンダー教育プログラムを作成予定である。

# キャリア（職業上の経歴や経験などの継続的な過程） 形成に関する意向調査のお願い

奈良県立医科大学  
女性研究者支援センター  
学生支援委員会

この調査は、本学に在籍する医学科の全学生を対象として、キャリア計画やキャリア形成に必要な事から等の基礎資料を収集し、本学のキャリア教育（職業理解および自己理解の促進、職業・生活設計能力の開発）に反映させることを目的に実施致します。

この調査は、個人を特定したり、回答した内容によって、不利な扱いを受けたりすることは決してありませんので、みなさんの現状やお考え、ご意見をありのまま答えてください。答えにくい質問には空欄でも結構です。

<留意事項>

- 1. 回答は、調査票に直接記入してください。
- 2. 選択式の質問は、数値を入れるか、該当する回答の記号を○で囲んでください。
- 3. ひとつの質問での回答は原則ひとつです。
- 4. 自由記載欄には、率直なご意見を書いてください。
- 5. 回答結果は連結可能匿名化など統計処理をして医学教育関連の学会や論文に公表するとともに、今後の大学教育の基礎資料として使用します。

【設問1】ご自身のことについてお尋ねします。

私は  年生の 

1. 男性
2. 女性

 です。

【設問2】自身のキャリア計画

質 問		回 答 欄
1	卒後の具体的なキャリアイメージはありますか。	1. 明確にある 2. ほぼ明確にある 3. あまりない 4. 全くない
2	将来、主に従事したいと考えている施設・業務は以下のどれですか。	1. 病院（大学を除く）の勤務医 2. 大学の臨床系教員 3. 大学の基礎系教員・研究機関の研究者 4. 診療所の開設者・開業医 5. その他（ ）
3	将来、管理職（教授・部長など）に就きたいと思いませんか。	1. そう思う 2. どちらかというと思う 3. どちらかというと思わない 4. そう思わない

【設問3】キャリア形成に必要な事から

自身のキャリア形成に以下の項目は重要だと思いませんか

質 問		回 答 欄				
		大変重要	重要	ある程度は重要	あまり重要でない	重要でない
4	医学に関する知識	5	4	3	2	1
5	医学以外の幅広い教養	5	4	3	2	1
6	体力	5	4	3	2	1
7	向上心	5	4	3	2	1
8	昇進意欲	5	4	3	2	1
9	ボランティア精神	5	4	3	2	1
10	語学力	5	4	3	2	1
11	自己アピール能力	5	4	3	2	1
12	後輩を指導する能力	5	4	3	2	1
13	コミュニケーション能力	5	4	3	2	1
14	組織のマネジメント能力	5	4	3	2	1
15	人脈	5	4	3	2	1
16	国外留学	5	4	3	2	1
17	医師となり臨床経験を積むこと	5	4	3	2	1
18	選択した診療領域で専門医認定を得ること	5	4	3	2	1
19	研究に携わり論文作成等の業績を積むこと	5	4	3	2	1
20	大学院に進学する等で博士（医学）の学位を取得すること	5	4	3	2	1

【設問4】 キャリア形成に不安を感じる事から

自身のキャリア形成を考える際に以下の項目に不安を感じていますか

	質 問	回 答 欄				
		大変不安	不安	ある程度不安	あまり不安でない	不安に感じない
21	医師という職業の将来性	5	4	3	2	1
22	希望する専門領域が見つかるかどうか	5	4	3	2	1
23	自分の知識・能力	5	4	3	2	1
24	意欲・向上心の持続	5	4	3	2	1
25	自分の健康状態	5	4	3	2	1
26	長時間労働	5	4	3	2	1
27	休日・休暇の取得	5	4	3	2	1
28	給料・収入	5	4	3	2	1
29	ワーク・ライフ・バランス	5	4	3	2	1
30	家族の支援・理解	5	4	3	2	1
31	結婚・出産・育児	5	4	3	2	1
32	人間関係・ハラスメント	5	4	3	2	1

【設問5】 キャリア形成のために改善が必要な事から

自身の将来のキャリア形成のため、以下の項目は改善が必要と思いますか

	質 問	回 答 欄				
		改善が大変必要	改善が必要	ある程度は必要	あまり必要でない	改善は必要でない
33	勉学意欲	5	4	3	2	1
34	勉強時間の確保	5	4	3	2	1
35	授業以外の学習機会	5	4	3	2	1
36	学業以外の活動時間の確保	5	4	3	2	1
37	家庭の経済状況	5	4	3	2	1
38	大学のカリキュラム	5	4	3	2	1
39	キャリアに関する情報を得る機会	5	4	3	2	1
40	友人関係	5	4	3	2	1
41	先輩・後輩との関係	5	4	3	2	1
42	教員との関係	5	4	3	2	1

【設問6】男女共同参画の認知について

質 問		回 答 欄
43	病院、診療所、行政機関等では、男性医師と女性医師の間に専門医認定割合や給与、職位に格差があると思いますか。	1. 明らかに男性優位と思う 2. 少し男性優位と思う 3. 男女差はないと思う 4. 少し女性優位と思う 5. 明らかに女性優位と思う
44	アカデミックキャリア（学位取得割合、研究業績、大学での職位等）の形成に、男性医師と女性医師の間で格差はあると思いますか。	1. 明らかに男性優位と思う 2. 少し男性優位と思う 3. 男女差はないと思う 4. 少し女性優位と思う 5. 明らかに女性優位と思う
45	医師の職場では、男女共同参画が実現していると思いますか。	1. 実現していると思う 2. ほぼ実現していると思う 3. あまり実現しているとは思わない 4. 実現しているとは全く思わない

【設問7】自由記載

思っていることを素直に記入してください（但し、個人を非難・中傷するような記述は避けること）。

質 問		記 入 欄
46	卒後のキャリア構築のために知りたい情報があれば記載して下さい。	
47	卒後のキャリアを考えるにあたり、大学でどのような機会があればよいと思いますか。	

ご協力ありがとうございました。

# キャリア（職業上の経歴や経験などの継続的な過程） 形成に関する意向調査のお願い

奈良県立医科大学  
女性研究者支援センター

この調査は、本学で研修する臨床研修医を対象として、キャリア計画やキャリア形成に必要な事から等の基礎資料を収集し、本学のキャリア教育（職業理解および自己理解の促進、職業・生活設計能力の開発）に反映させることを目的に実施致します。

この調査は、個人を特定したり、回答した内容によって、不利な扱いを受けたりすることは決してありませんので、みなさんの現状やお考え、ご意見をありのまま答えてください。答えにくい質問には空欄でも結構です。

<留意事項>

- 1. 回答は、調査票に直接記入してください。
- 2. 選択式の質問は、数値を入れるか、該当する回答の記号を○で囲んでください。
- 3. ひとつの質問での回答は原則ひとつです。
- 4. 自由記載欄には、率直なご意見を書いてください。
- 5. 回答結果は連結可能匿名化など統計処理をして医学教育関連の学会や論文に公表するとともに、今後の大学教育の基礎資料として使用します。

【設問1】ご自身のことについてお尋ねします。

私は臨床研修 

1. 1年目
2. 2年目

 の 

1. 男性
2. 女性

 です。

【設問2】ご自身のキャリア計画

質 問		回 答 欄
1	臨床研修を終了した後の具体的なキャリアイメージはありますか。	1. 明確にある 2. ほぼ明確にある 3. あまりない 4. 全くない
2	将来、主に従事したいと考えている施設・業務は以下のどれですか。	1. 病院（大学を除く）の勤務医 2. 大学の臨床系教員 3. 大学の基礎系教員・研究機関の研究者 4. 診療所の開設者・開業医 5. その他（ ）
3	将来、管理職（教授・部長など）に就きたいと思いませんか。	1. そう思う 2. どちらかというと思う 3. どちらかというと思わない 4. そう思わない

【設問3】キャリア形成に必要な事から

ご自身のキャリア形成に以下の項目は重要だと思いませんか

質 問		回 答 欄				
		大変重要	重要	ある程度は重要	あまり重要でない	重要でない
4	医学に関する知識	5	4	3	2	1
5	医学以外の幅広い教養	5	4	3	2	1
6	体力	5	4	3	2	1
7	向上心	5	4	3	2	1
8	昇進意欲	5	4	3	2	1
9	ボランティア精神	5	4	3	2	1
10	語学力	5	4	3	2	1
11	自己アピール能力	5	4	3	2	1
12	後輩を指導する能力	5	4	3	2	1
13	コミュニケーション能力	5	4	3	2	1
14	組織のマネジメント能力	5	4	3	2	1
15	人脈	5	4	3	2	1
16	国外留学	5	4	3	2	1
17	臨床業績(症例数等)を積むこと	5	4	3	2	1
18	選択した診療領域で専門医認定を得ること	5	4	3	2	1
19	研究業績(論文数等)を積むこと	5	4	3	2	1
20	大学院に進学する等で博士(医学)の学位を取得すること	5	4	3	2	1

【設問4】 キャリア形成に不安を感じる事から

ご自身のキャリア形成を考える際に以下の項目に不安を感じていますか

	質 問	回 答 欄				
		大変不安	不安	ある程度不安	あまり不安でない	不安に感じない
21	医師という職業の将来性	5	4	3	2	1
22	希望する専門領域が見つかるかどうか	5	4	3	2	1
23	自分の知識・能力	5	4	3	2	1
24	意欲・向上心の持続	5	4	3	2	1
25	自分の健康状態	5	4	3	2	1
26	長時間労働	5	4	3	2	1
27	休日・休暇の取得	5	4	3	2	1
28	給料・収入	5	4	3	2	1
29	ワーク・ライフ・バランス	5	4	3	2	1
30	家族の支援・理解	5	4	3	2	1
31	結婚・出産・育児	5	4	3	2	1
32	人間関係・ハラスメント	5	4	3	2	1

【設問5】 キャリア形成のために改善が必要な事から

ご自身の将来のキャリア形成のため、以下の項目は改善が必要とご思いますか

	質 問	回 答 欄				
		改善が大変必要	改善が必要	ある程度は必要	あまり必要でない	改善は必要でない
33	医学知識や医療技術を吸収する意欲	5	4	3	2	1
34	医学知識を学ぶ機会の確保	5	4	3	2	1
35	医療技術を習得する機会の確保	5	4	3	2	1
36	仕事以外の活動時間の確保	5	4	3	2	1
37	家庭の経済状況	5	4	3	2	1
38	臨床研修プログラム	5	4	3	2	1
39	キャリア構築に関する情報を得る機会	5	4	3	2	1
40	同僚や後輩医師との関係	5	4	3	2	1
41	先輩医師との関係	5	4	3	2	1
42	医師以外の職員との関係	5	4	3	2	1

【設問6】男女共同参画の認知について

質 問		回 答 欄
43	病院、診療所、行政機関等では、男性医師と女性医師の間に専門医認定割合や給与、職位に格差があると思いますか。	1. 明らかに男性優位と思う 2. 少し男性優位と思う 3. 男女差はないと思う 4. 少し女性優位と思う 5. 明らかに女性優位と思う
44	アカデミックキャリア（学位取得割合、研究業績、大学での職位等）の形成に、男性医師と女性医師の間で格差はあると思いますか。	1. 明らかに男性優位と思う 2. 少し男性優位と思う 3. 男女差はないと思う 4. 少し女性優位と思う 5. 明らかに女性優位と思う
45	医師の職場では、男女共同参画が実現していると思いますか。	1. 実現していると思う 2. ほぼ実現していると思う 3. あまり実現しているとは思わない 4. 実現しているとは全く思わない

【設問7】自由記載

質 問		記 入 欄
46	臨床研修終了後のご自身のキャリア構築のために知りたい情報があれば記載して下さい。	
47	臨床研修終了後のキャリアを考えるにあたり、現在の研修病院でどのような機会があればよいと思いますか。	

ご協力ありがとうございました。

キャリア構築のために知りたい情報

<p>1年生</p>	<p>男子学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アメリカの医学博士の取得について知りたい。</li> <li>• 医学特別講義において、内容が全く専門的すぎます。モチベーションは上がりますが専門内容に触れる前にもう少し入門的な話を聴く機会を大事にしてもらいたいです。知識が話についていけません。</li> <li>• 色々な人がどういうキャリアをすごしていつているかを知りたい。</li> <li>• 海外で働くボランティア医師について知りたいです。</li> <li>• 海外留学の重要性はどのくらい大きいのか</li> <li>• 開業医・勤務医になったときのそれぞれの具体的な収入や育児・出産休暇のとりやすさ</li> <li>• 各専門医についての情報</li> <li>• キャリア構築の詳細な例</li> <li>• 様々なキャリアにおける平均年収</li> <li>• 女医の活躍について</li> <li>• 女性医師の結婚・出産についての実情</li> <li>• 先輩の進路先</li> <li>• 専門医認定制度とはどういうしくみなのか。</li> <li>• 卒業生がどの病院で、また何科で働いているかについての情報</li> <li>• 大学病院の世界の汚さ</li> <li>• 地域医療を実際に体験してみる機会をつくってほしい。</li> <li>• どういう病院があるのか、その中の施設はどのようなものであるかを分かりやすく説明してほしい。</li> <li>• どんな医師の科があるのか</li> </ul>
	<p>女子学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 海外研修等</li> <li>• 各科の勤務内容。働く病院の様々な状況。</li> <li>• 国の過労死基準の倍ほどの時間外労働をどうにかしてほしい。</li> <li>• 県外での研修の応募</li> <li>• 国内外留学のメリット、デメリット</li> <li>• 周囲に医師の知り合いなどがいないので、医師になるまでに具体的にしないとイケないことを知りたいです。(いつごろにこういう試験があるということや、いつごろに勤める病院を決めることができるのか、など。)</li> <li>• 女医がどこで知り合った人と結婚するのかを知りたい。タイミングも知りたい。</li> <li>• 女性医師が他の男性医師や看護師からどのように捉えられるのか。将来医師として役に立つスキル・資格等は何か。</li> <li>• 総合診療科を志しているが、そのためにはどういうキャリアが必要かを知りたい。</li> <li>• それぞれの診療科を希望している人数、実際のところどうなのか、など。何歳で結婚、出産している人が多いのか。</li> </ul>
<p>2年生</p>	<p>男子学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各病院とのマッチングのことを具体的に知りたいです。</li> <li>• 国試や専門医制度の説明がほしい。</li> <li>• 後期研修について</li> <li>• 先輩方の進路</li> <li>• 何が分からないかが分からない。</li> <li>• 留学など。大学院に関して。</li> </ul>

3年生	男子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医師免許を持っていると何ができるのか。</li> <li>• 研究医・専門医などの制度の両立について。</li> <li>• 研究医の実情。臨床医から研究医、研究医から臨床医といったことは実際可能なのかどうか。</li> <li>• 研修の内容</li> <li>• 専門医制度の動向</li> <li>• 卒後にどのようなことをまず最初にすべきか。</li> <li>• どの医療施設がどの科に強いのか。</li> <li>• 博士号について</li> <li>• 臨床医以外にどんな道があるか。</li> <li>• ワークライフバランス。一般常識講演会。</li> </ul>
	女子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医官についてとか勤務医以外の医師の職業について。英語の必要性。職場の派閥。給与。必要な知識。</li> <li>• いつ専門医として、いつ結婚して、いつ出産して…っていう人生プランの例を知りたい。</li> <li>• 女医が結婚・出産・育児ができる環境なのか。</li> </ul>
4年生	男子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今までにキャリア構築をしてきた人にとってどのような研究をしたか、どのような努力をしてきたか。</li> <li>• 各科の雰囲気、ロコミ</li> <li>• 今後の医療職の展望</li> <li>• 様々な病院に進んだ医師がそれぞれどのようなキャリアを構築していくことが多いのかといった情報</li> <li>• 収入がよく分からない</li> <li>• 収入について</li> <li>• 出産・育児が気持ちよくできるための情報</li> <li>• 正直どの病院に行ったら何がいいのか全く分かる機会が今のところないです。</li> <li>• 新専門医制度について詳しく</li> <li>• 専門医制度について詳しく時間をとって説明してほしい。</li> <li>• 専門医制度や後期研修や医局に入るべきかなどの医師社会がまったくわからない。</li> <li>• 専門医や学位を取得することのメリット、(およびデメリット)について</li> <li>• 卒後どうするか具体的なことが全然分からないのでよくある典型例などを知りたい。</li> <li>• 他大学ではどのようなになっているのか</li> <li>• 病院の細かい情報</li> <li>• 病院のマッチングや研修制度等といった直近のキャリア形成についての話だけでなく、その先のこと(開業するか、教授等になるか)の話をして欲しい。</li> <li>• マッチングの実情みたいなのが知りたいです。</li> </ul>
	女子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 後期研修についてあまり詳しくない</li> <li>• 先輩はどの病院へ行かれたか等を具体的に知ることによって自分のキャリア構築の参考にしたいです。</li> <li>• 専門医制度の現実(変更点等)</li> <li>• そのキャリアを構築した理由、方法、それを構築するのに必要だと思われる学生生活の過ごし方等を先輩医師から知る機会</li> <li>• 転職について</li> <li>• 臨床医のあり方のみならず、産業医、医療経済等についてももっと知りたい。</li> </ul>

5年生	男子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医学部を卒業して以降の大学院の入学へのタイミング</li> <li>• キャリア女は嫌いです…</li> <li>• 後期研修医どこでしたらよいか。初期研修医どこでしたらよいか。後期研修後どうしたらよいか。</li> <li>• 出産した際の遅れに対する対策について</li> <li>• 新専門医制度について。開業するまでの具体的なキャリアの積み方など。</li> <li>• 専門医等々の仕組み</li> <li>• 外病院に出ている先生方のこと。</li> <li>• そもそも、働いていく上で、レセプトの事とか、もう少し強調して学びたかったかな・・・と。今後、医療費と無駄なものを削減しないといけないし・・・。</li> <li>• ちがう大学の医局に入るキャリアはどんなものか知りたい。</li> <li>• どのタイミングで大学院へ進むべきか</li> <li>• どのような選択肢があるのか</li> </ul>
	女子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各病院の給料をもっと教えてほしい。</li> <li>• 国会議員（または県議会）に必ずなりたいです。</li> <li>• 女医の生き方</li> <li>• 新専門医制度と研修病院選択の関係</li> <li>• 卒業してから専門医取得までどのような流れになるのか。どこで研修すればよいのか。</li> <li>• 大学院進学に関する情報</li> <li>• 大学院についての講義があったらいいと思う。</li> <li>• 大学で研修をしたいが落ちるのが不安。</li> <li>• 何を知りたいのか分からない</li> </ul>
6年生	男子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 県外の関連のない市中病院で研修して大学の医局に入れるのか。</li> <li>• 語学研修</li> <li>• 今後の医師需給（診療科ごと）</li> <li>• 女医の生活と仕事とのバランスをどうしているか。医局に入った後、結婚などがあればどうなるのか。</li> <li>• 専門医の取得、研究、そこから国内外への留学の流れと、そう進むために何が必要となるのか知りたかった。</li> <li>• 卒後10年間の起きるイベントとか…。キャリアパスのモデルケース（大学以外の勤務医で）</li> <li>• 病院経営方法</li> </ul>
	女子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• キャリアをつぶさないための産休・育休をとる時期</li> <li>• 結婚のタイミング</li> <li>• 子供を持つ女性医師の働き方と可能性について知る機会。</li> </ul>
臨床研修医 1年目	男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>• キャリア別の労働時間、給与の差など（大学に残った場合や、専門医別など）</li> </ul>
	女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各科それぞれの入局後 1,2年目のライフワーク等の詳細（特定の科のみの情報しかない）</li> <li>• 専門医制度なども未定なもの多くキャリアを考えづらい状況と思います。</li> <li>• 専門医制度について、始めから教えて欲しい（当然知っているという体で基本的な事が抜けているため、毎回何が言いたいのか伝わらない）</li> </ul>
臨床研修医 2年目	男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各医局の新専門医制度導入にあたっての入局後のプログラムについて</li> </ul>

キャリア構築のために希望する機会

<p>1 年生</p>	<p>男子学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医師の先生の話聞く機会</li> <li>• 色々な病院を回る</li> <li>• キャリア形成の体験</li> <li>• 国外留学（アメリカの研究室など、先端医療の）</li> <li>• 様々な世代の医師の方のお話を聞かせていただくこと</li> <li>• 実際の医師との交流会</li> <li>• 実際の医師のみなさんのキャリアを教えてもらえるような機会</li> <li>• 女子学生と女性医師が直接触れ合う機会</li> <li>• 先輩がどのようにキャリアを積んでいるのかを知る機会があればよいと思う。</li> <li>• 専門医認定制度について詳しく説明を受ける機会</li> <li>• 卒後についての講義を医特の時間に。</li> <li>• 卒後の様々なキャリアの提示</li> <li>• 卒後を考える説明会</li> <li>• 低学年向けの研修医研修病院の説明会。奈良県外の病院についても紹介してもらおう。</li> <li>• 周りの大学との比較</li> <li>• やはりより多様な（地域面も含め）病院に派遣される機会！現在奈良県内が主である。阪大系列、京大系列にも行ってみたい。</li> <li>• 留学を、できるだけお金の負担がないように、したいです。</li> <li>• 留学を進める。グローバル化に対応。</li> <li>• 臨床医と触れ合う機会</li> <li>• 臨床系の実習・指導</li> </ul>
	<p>女子学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 具体的にどういう経験を積めるのか、どういう選択肢があるのか、希望者制で説明会やセミナーがあれば嬉しいです。（興味のある説明会を選択して自由に聞きに行ったり、質問をしたりする機会があれば助かります。）</li> <li>• 実際の病院で働く時間</li> <li>• 女医さん（結婚して子供もいらっしゃる方）の講演会</li> <li>• 卒後の具体的な進路を示す機会がもっと増えると嬉しい。</li> <li>• それぞれ異なる分野を専門とする医師による話を聞く機会</li> <li>• チームを組ませて、プロジェクトの考案から実現までをさせる。</li> <li>• 長期の休み（留学、研修が受けられるように）</li> <li>• 長期の休みを与えることで、自分が好きに使える時間を設けさせることが大事であると思う。</li> <li>• 直接奈良医大を卒業した医師に来て頂いて話を聞く機会が必要だと感じる。</li> <li>• ポリクリで十分だと思うので特になし。</li> <li>• 留学機会</li> <li>• 留学機会。日本中の病院見学。</li> <li>• 留学生の受け入れをより積極的に行う</li> </ul>
<p>2 年生</p>	<p>男子学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 卒後のキャリアを考えるにあたり、大学でどのような機会があるかから教えて下さい。</li> <li>• 色々な先生の話聞く</li> <li>• キャリアをもつ色々な先生の講演会</li> <li>• ジャイカなど国際協力のボランティアに参加する期間を設けてほしい。</li> <li>• 分かりません</li> </ul>

3年生	男子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一般的な医師としての働き方とは異なる形で働いている方の講演。</li> <li>• いろんなキャリアの人の話をきく機会が増えればと思います。</li> <li>• 十分な研修</li> <li>• 進路説明会</li> <li>• 卒業生による現場からのレポート（各科、臨床/研究問わず）が閲覧できるシステムがあると、色々知ることができると思います。</li> <li>• 卒後まもない研修医の生の声</li> <li>• 他大学との交流</li> <li>• 他大学も含めた説明会</li> <li>• まだ3年生なので分からない。</li> <li>• 留学を身近に感じるような機会</li> </ul>
	女子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学外の研修室で研究したり、学外の病院で研修を積む機会。</li> <li>• 現役女医の話を聞く機会を増やす。</li> <li>• 自由な時間を増やす。（授業を減らす。）</li> <li>• 上記のことを知る機会。ひとつに偏らない将来を見据えたテスト。</li> <li>• もっと現役の医師と話す機会</li> </ul>
4年生	男子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 海外に行ってみたい気持ちが少しあるが、研修医終了後どのタイミングでいけばよいかよくわからないので、そのサポートをして欲しいです。</li> <li>• キャリア構築にあたり、その人の人生談などを詳しく聞きたい。</li> <li>• キャリアをいろいろ紹介する授業</li> <li>• 講演や説明会だけでなく、パンフレット等の資料も置いておいて欲しい。自由に誰でも取りにいける形で。</li> <li>• 様々なキャリアを構築してきた人々の話を聞く機会</li> <li>• さまざまなキャリアをもった人の話を聞く機会があればよいと思う。</li> <li>• 実践的な実習</li> <li>• 自由時間がほしい（カリキュラム詰めすぎ）</li> <li>• 女性が明らかに進路に有利なのを是正してからこのようなセンターを活動させるべきだ。</li> <li>• 卒業生との座談会。特に奈良医大以外。</li> <li>• 卒後のキャリアについて、具体的にどのような進路があり、どのような働き方をしていくのかわかるパンフレットや講義があればいいなと思いました。</li> <li>• 大学側は学生に残ってほしいと思っているのは分かるが、大学以外で先輩方はどのような病院に就職しているかの情報</li> <li>• 大学病院以外に医師が活躍するフィールドなどをもっと知りたい。</li> <li>• 他大学のマッチング先の情報</li> <li>• とにかく参加型のポリクリ。また、学外でのクリクラ。</li> <li>• ノミネーション</li> <li>• もっと地域の交流を増やす。医者や看護師との関わり。</li> <li>• より充実した海外留学先。マン・ツー・マンで受けた実習が、比較的実り多いものになることが多い。そのような機会を増やすのが良いと思う。（将来のための人脈作りにもつながる）</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 専門医制度や後期研修や医局に入るべきかなどの医師社会を説明してもらいたい。</li> </ul>
	女子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医学部以外で医療系の仕事をしている方（歯学、PT、OT、医療メーカー、工学部等）のお話や、そういった所に見学に行く機会が欲しい。</li> <li>• 研究室配属の期間を長くして興味を持続させる。</li> <li>• 種々の医療従事者の講演など</li> <li>• 全体に対する講義なども重要だとは思いますが信頼できる相談する機会があればよいと思う。</li> <li>• 卒後の進路について学内でも十分に考える機会を設けられたらと思います。</li> <li>• そのキャリアを構築した理由、方法、それを構築するのに必要だと思われる学生生活の過ごし方等を先輩医師から知る機会</li> <li>• ニュートラルな立場での研修病院の評価</li> <li>• 分かりません</li> </ul>
5年生	男子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新専門医制度について。開業するまでの具体的なキャリアの積み方など。</li> <li>• 先輩等の話をきく機会があればいいと思う。</li> <li>• 低学年のうちに大学・大学外で働いている人の話をききたい。</li> <li>• 複数の教員との個別面談。</li> </ul>
	女子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 開業医の先生に話をきく機会</li> <li>• 交流会</li> <li>• 進路と、そのために必要な今すべきことについての説明</li> <li>• 専門医制度についての説明の機会</li> <li>• 他大学出身の教員の奈良医大と自校を比べてどうか。</li> <li>• 長期休みが少なすぎるから（冬・春）病院見学などに申し込みにくいです。</li> </ul>
6年生	男子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 基礎・臨床問わず幅広い分野で活躍されている先生のお話をきく機会。自分の望む病院でポリクリを行うこと。</li> <li>• 希望者全員が海外での実習等ができるカリキュラムを導入してもらいたい。</li> <li>• 自由交渉の先の実習（クリニカルクラークシップの選択肢が他学に比し少なすぎる）</li> <li>• 女医さんがどのように働いているかを知る機会を早い学年でもやってほしかったです。</li> <li>• 上記のため、卒後6～8年目、13～16年目ぐらいの先生とキャリアについて話す機会があればよかったかなと思った。部活動の先輩だけでは偏りを感じる。</li> <li>• 尊敬できる考えや経験、価値観を持つ方にお会いする機会があれば良いなと思います。</li> <li>• のびのびした学風。ユーモア。</li> <li>• 飲み会（先生と学生）</li> <li>• 留学</li> <li>• レクチャー</li> </ul>
	女子学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 色々な進路に進んだ人の話を聞く機会。大学病院だけでなく。</li> <li>• 課題が煩わしいイメージがあります。</li> <li>• 機会などそれほどいらなないと思っている。</li> <li>• キャリアパスメンター実習。私のキャリアパスの講義は不要。</li> <li>• 実際の奈良医で働く女医の結婚年齢、子供の数、等々のデータがあれば面白いと思う。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 先生と飲みたい</li> <li>• 他大学・病院などの見学に行く期間を十分にもうけてほしい。</li> <li>• のびのび学ぶ機会</li> <li>• 子供を持つ女性医師の働き方と可能性について知る機会。</li> </ul>
臨床研修医 1年目	男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 海外連携病院の存在</li> </ul>
	女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 週に1回程度の研修医・臨床医（中級～上級）を含めたケースカンファレンスや勉強会【医学知識の向上の他に毎回ゲストで様々な診療科の臨床（基礎）医を招いてキャリアについて考えたり話を聞く機会を作る】</li> <li>• 将来、どんな進路があるか選択肢や具体的に何をしていけば良いか知りたい。育児をしながら、キャリアアップしていくのは、かなり困難なように思う。育休に関しては、男性医師も取得を検討してもよいかと思う。男女ともに、ワークライフバランス考える機会があればよい。</li> <li>• 特にない。今のままでも十分だと感じます。ただ、マイナー科や外科系の何らかの対策は必要ではないかと思えます。</li> </ul>
臨床研修医 2年目	男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 休みの日がちゃんと休めること。上下関係がきびしくないこと。後輩指導が出来るようなちゃんとしたコミュニケーションをとれる Dr が少ないので変な奴は受験時からしっかりはじくこと。</li> </ul>